

**種の概要**

宮城県以南、四国、九州に分布。沿岸の潮間帯から浅海域の細砂底に生息する。殻長45mm、殻高40mm程度。殻は前後に短い亜三角形、薄質、よく膨らむ。殻表には輪肋が多数あり、特に周縁部では強い。殻色は淡い紫褐色であるが、周縁は濃い。

**主要な選定理由**

人為性			生息環境の特殊性		学術性		
個体数激減	分布域に影響	営利目的捕獲	特殊生息環境	地域的孤立	分布が極限	分布の限界	希少
○			○	○			○

**県内分布**

加古川市、姫路市、洲本市

**県内における生息状況及びその他特記事項**

新規追加種。淡路島中部の内湾に面した1極小河川の河口干潟のみ生息が確認されているが、現在は生貝を確認できない。播磨地域においては死貝のみを確認しているのみである。

**保護上の留意点**

過去において生貝、あるいは現在では新鮮な死貝が確認されているので、今後の定着は予測される。細砂床の河口や前浜干潟の還元化や消失を避けること。



写真提供：川渕千尋



写真提供：川渕千尋

【執筆者】 川渕千尋